

質問質疑

市政のこころを問う

この定例会では3月4日・5日・8日の3日間で、17人が登壇し、42項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目(発言順)(※)：…掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 刈谷市の働き方改革の推進について
 - ※2 刈谷市の新型コロナウイルス感染症対応について
- 黒川 智明 議員
 - ※1 刈谷市教育行政方針について
 - ※2 刈谷市教育行政方針について
- 谷口 睦生 議員
 - ※1 災害時における高齢者等の避難支援について
 - ※2 心のバリアフリーの推進について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 地震対策アクションプランについて
 - ※2 スポーツ施設の環境整備について
- 鈴木 正人 議員
 - ※1 放課後児童クラブについて
 - ※2 教育行政方針について
- 葛原 祐季 議員
 - ※1 中小事業者への支援について
 - ※2 依佐美地区のまちづくりについて
- 星野 雅春 議員
 - ※1 依佐美地区のまちづくりについて
 - ※2 依佐美地区のまちづくりについて
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 市民の安全安心を向上させる施策について
 - ※2 市民の安全安心を向上させる施策について
- 松永 壽 議員
 - ※1 令和3年度施政方針について
 - ※2 令和3年度教育行政方針について
- 城内 志津 議員
 - ※1 令和3年度当初予算について
 - ※2 子どもの読書活動の推進について
- 鈴木 網男 議員
 - ※1 野田新町駅周辺について
 - ※2 コロナ禍での事業支援助、補助金のあり方について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 2021年度(令和3年度)予算案について
 - ※2 市長の施政方針について
- 深谷 英貴 議員
 - ※1 生活保護申請手続きについて
 - ※2 市民への情報提供と市民からの情報収集について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



蜂須賀 信明 議員

職員テレワークは新型コロナウイルスの収束にかかわらず推進すべき!!
働き方改革の一環として、本格実施に向けた検討を進める

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として、職員が実施しているテレワークはどのようなものか。

答 本市のテレワークは、職員が職場での担当業務を自宅で行う在宅勤務を指し、勤務の分散化を図るため、令和2年5月7日から試行的に実施している。テレワークで職員はどのような仕事をしているのか。

答 テレワークで実施しているのは、申請手続や相談を受け付ける窓口業務等以外の業務である。内容は、担当業務に係る調査研究、企画書や会議資料の検討作成、公共工事に係る設計書の作成などが挙げられる。



新型コロナを契機として、多様な働き方の推進を

黒川 智明 議員

長期的な視野で学校教育の充実と働き方改革の両立を!!
きめ細やかな授業を推進することもさらなる業務の効率化を図る

問 令和3年度に進める少人数授業とチーム・ティーチング授業のメリットデメリットは。

答 メリットは、教員が個々の子供に関わる時間が増え、子供の理解度や習熟度に合わせたきめ細やかな学習支援を行える。デメリットは、複数の教員が同時に指導を行うため、新たな打合せ時間が必要となる。

問 効率的な授業の効果は期待できる。一方、その拡充を推進する必要がある。

答 災害弱者を守るために実効性のある個別計画作成の促進を!!
地域の方々と連携・協力しながら、個別計画作成の促進を図る

問 近年、激甚化する自然災害では、高齢者や障害者などの災害弱者が逃げ遅れ、犠牲になるケースが後を絶たない。避難行動要支援者名簿の作成だけでなく、事前に避難方法を決めておくことが課題とされている。

答 ゾーン30内の速度抑止には、警察の協力が必要と考えるが見解は。

問 地区からの要望に基づき、必要に応じて、ゾーン30内の取締りを警察に働きかける。

答 平成26年度から設置を推進した街頭防犯カメラの効果は大きい。さらなる防犯カメラ設置等を含め今後の防犯対策は。

問 公園、広場、児童遊園にある木製遊具、木製ベンチ及びトイレの和式便器の設置数は。

答 木製遊具は5か所の公園に11基、木製ベンチは全体で約1,400基のうち約800基、トイレは全体で160か所あり、そのうち和式便器が設置されているトイレは140か所で、194基の和式便器がある。

問 木製遊具と木製ベンチの今後の更新の考え方と、トイレの洋式化の進め方は。

答 木製遊具の更新は、公園の特性などに応じて遊具の材質や種類を検討する。木製ベンチは、全体的に老朽化が進んでいることから、管理が容易で耐久性に優れた製品へと計画的に更新したい。トイレの洋式化は、洋式便器への切替えを基本とし、令和3年度に改修計画の策定に取り組み、計画的に改修を進めていきたいと考えている。

- 稲垣 雅弘 議員
 - ※1 「70th+1つなげよう未来の刈谷」について
 - ※2 予防接種等事業の拡充について
- 新海 真規 議員
 - ※1 公園施策について
 - ※2 請願及び陳情への対応について
 - ※3 避難所マンホールトイレ整備事業について
 - ※4 刈谷市の使用料について
- 上田 昌哉 議員
 - ※1 食料支援について
 - ※2 コロナ禍の対応について
 - ※3 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ※4 新都市の充実について
- 牛田 清博 議員
 - ※1 公共交通戦略と住みよいまちづくりについて
 - ※2 魅力あふれる公園づくり事業について
 - ※3 魅力あふれる公園づくり事業について
 - ※4 魅力あふれる公園づくり事業について

葛原 祐季 議員

依佐美地区が安心安全で元氣なまちとなるような取組を!!
都市的・農業的土地利用が調和したまちづくりを進めていく

問 企業8社の誘致が内定している先行開発区域における周辺の交通事情について、どのような変化を想定するとともに、その調査などは行っているか。

答 交通量は、1日当たり約1,200台の増加を想定している。また、国道419号と周辺の主要交差点8か所で交通量調査を実施している。

問 県の企業庁による開発を見据えた検討が進められているか。

答 国道419号及び国道23号高棚北ICに県道小垣江安城線を接続することで、既成市街地への影響を減らすよう配慮する。また、第2期開発に向けて工業用地と県道小垣江安城線を接続する新規の幹線道路の整備も予定するなど、開発時期に合わせた段階的な整備を行う。

星野 雅春 議員

離婚に係る公正証書や調停調書の作成費用の補助を!!
他市の事例を参考に、二入等を含め調査・研究を行う

問 離婚届出に対する案内の際どのような対応をしているか。

答 子の氏の変更手続や年金分割の案内等を併せて渡しているほか、法務省作成の養育費についてのパンフレットも窓口に備えて付けている。

問 小さい子供がいる夫婦が離婚をする場合、何かアドバイスできるものか。

答 公正証書や調停調書の作成に係る費用を補助するもので

鈴木 浩二 議員

放課後児童クラブのさらなる受入れ緩和と祝日受入れ実施を!!
保護者が夜勤の場合の対応についても前向きに検討していく

問 個別計画作成の課題は何か。また、今後の取組は。

答 避難時の支援者が見つからないこと、要介護度や障害の程度など個人情報提供に同意が得られないことなどが課題である。引き続き、民生委員や自主防災会の方々と連携、協力し、作成の促進を図っていく。

問 祝日開設について、二入があることは認識しているが、支援員の確保が常に課題になっている。課題の解決に向けて、引き続き調査研究を進め、新たな支援員の確保にも取り組む。



災害発生時に高齢者等が逃げ遅れることがないよう対策を(グループホームでの訓練)

鈴木 正人 議員

市民が安心してワクチン接種を受けられる体制整備を!!
刈谷医師会とも調整し、安全安心かつ円滑な接種に努める

問 コロナの収束に向け、ワクチン接種が円滑に進むよう積極的に取り組んでいく必要がある。集団接種の訓練を実施したが、その詳細と課題は。

答 会場候補の一つとして予定している保健センターにおいて、運営の問題点や課題の洗い出しを目的とし、ワクチン接種対策チームの職員を中心とした約60人で実施した。実際と同様に設営し、手指消毒から接種後の経過観察までの一連の流れを行った。想定外のエリアにおいて接種者が滞留した事例があり、



接種開始に向け、訓練を実施し万全の体制を

鈴木 網男 議員

野田新町駅周辺の公園が不足する地域に緑あふれる公園整備を!!
令和3年度から(仮称)北屋敷公園整備事業に着手する

問 刈谷野田北部土地地区画整理事業は面的整備率も95%を超え事業も終盤だが、事業期間はいつまでか。また、事業の課題や今後の進め方はどのようなか。

答 事業期間は、令和5年3月までとしているが、必要に応じて延伸を図っていきたい。建物等の移転が主な課題で、今後も早期完了に向け、引き続き粘り強く交渉を行っていきたい。

問 野田地区の密集市街地に策定しないのか。

答 本市は県が策定している第4次計画の多くの事業を既に実施しているため、子供の読書活動については満足いくレベルに達していると考えている。それらの点を踏まえ、今後の第8次刈谷市総合計画策定の中で併せて検討していく。

鈴木 網男 議員

野田新町駅周辺の公園が不足する地域に緑あふれる公園整備を!!
令和3年度から(仮称)北屋敷公園整備事業に着手する

問 図書館システムは、貸出がバーコードで容易に行えるとともに、蔵書管理等に便利である小学校への導入から25年経過しているが中学校への導入は。

答 中学校は生徒が主体的に本の貸出等の係活動を行っている。また、学校からも強い要望がないため導入は考えていない。

問 図書館システムは、貸出がバーコードで容易に行えるとともに、蔵書管理等に便利である小学校への導入から25年経過しているが中学校への導入は。

答 平成29年に地元で公園整備の機運が高まり、地元議員である鈴木議員には地権者や周辺住民への事業協力の働きかけなどに尽力していただいた。その後、平成31年に地区から要望書が提出され、令和3年度の事業化に至ったものである。

山本 シモ子 議員

消費税増税理由による値上げではなく新たな減免施策を!!
消費税率分の適正な負担は理解していただきたい

問 消費税増税は市民生活に打撃を与えている。さらにコロナ禍の今、新たな減免施策を打ち出すことが強く望まれるが、国から交付される地方消費税交付金の使い道に制限があるのか。

答 交付金は一般財源に入るが、消費税率5%から10%への改定分は、社会保障施策に充てることとされている。

問 4年ごとの使用料改定に伴うとする施設利用料の値上げは、市民の負担を考慮せず市の都合で行うのか。

答 公平性の観点などから空調施設や照明設備の電気料金を適正に負担していただきたい。まちづくり税として家を



消費税増税やコロナ禍の今こそ市民生活を守る施策を